

江戸川区ハザードマップ [水害 洪水・高潮] について

ご存じですか、ハザードマップ？

〈江戸川区より各ご家庭に配布〉

江戸川区では、これまでに経験したことの無い大きな水害が起こった時でも、自らの命を守るための行動をとることができるよう「江戸川区水害ハザードマップ」を作成しています。

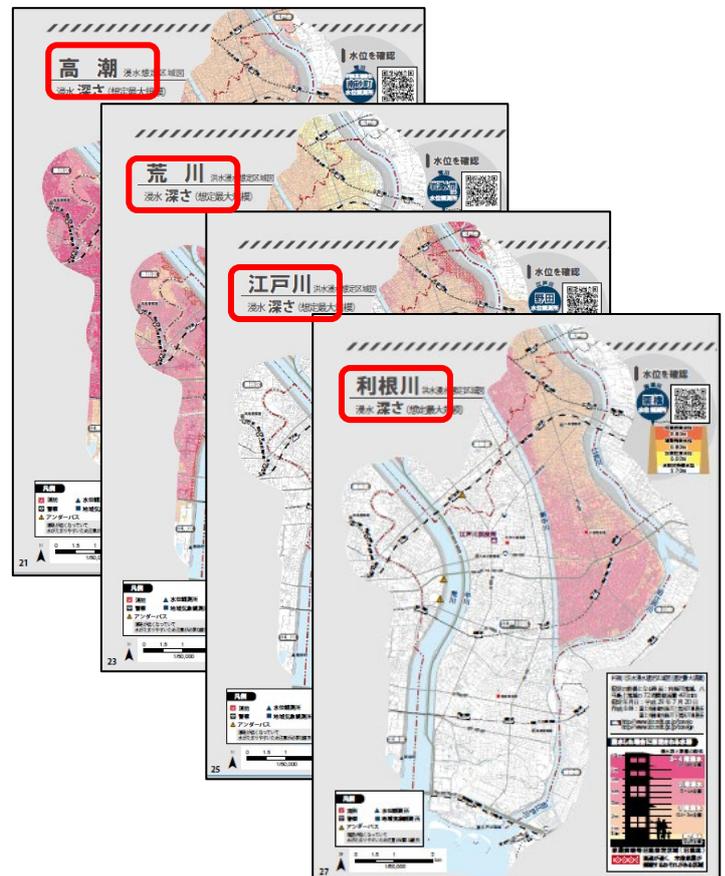
これまで本校が授業で取り組んできたことや、各種イベント、講演会等でご紹介したことの他、この冊子を活用することを通して、家族みんなで、「わが家の応援避難計画」を作成し備えていくことが大切です。

どうなるか・どうするか

どのような災害が起こる可能性があるか知ること、次に自分の住む地域に当てはめて考えることが防災の第一歩です。冊子には、江戸川区の過去の災害を紹介しています。

どの川？でかわる避難

本区は、東京湾や大きな河川に囲まれています。そのため洪水がどの河川で起こったかによって、それぞれの地域での避難の方法が変わってきます。本冊子には、高潮や荒川、江戸川、利根川、中川の浸水想定区域図が掲載されています。これらの資料等を確認し、避難計画を作成していきます。



広域避難について

江戸川区は大河川の最下流に位置しているため、水害が発生しやすい地理的な条件にあります。本区では、右資料にあるように、今までに経験したことがないような巨大台風や大雨が予測される場合は、広域避難が基本となります。

避難計画をつくろう

本校では、毎年、区役所や町会と連携して避難所運営会議、及び避難所開設訓練を実施し、水害時の避難場所としての備えを行っています。

しかし、周知のとおり、水災時に地域住民の皆さんを受け入れるだけの広さはありません。右資料の「わが家の広域避難計画」にあるように、避難の検討は72時間前（3日前）から行うことと示されています。難しい判断をとまいませんが、資料を参考にしながら、各ご家庭で話し合い避難計画を作成しおくようお願いいたします。

備えも必要

避難先や避難途中で必要なものを非常持ち出し品としてまとめておいたり、避難先や避難方法を家族みんなで確認をして決めておくこととよいです。日頃から備えておくことで、いざというときにすぐに避難を始めることができます。



【広域避難（より安全な区外へ）】



【広域避難計画例】

江戸川区役所地域防災課 関さんより

江戸川区ハザードマップは、今までに経験したことがないような、大規模な水害が起こったら“どうなるか”命を守るために“どうするか”を知っていただくためのものです。水害などの自然災害に対しては、日頃からの備えがとても重要です。いざというときに備えて自宅周辺の地理や避難するところの位置を確認し、家族で避難時の行動を話し合っておくなど、日頃からの備えをお願いします。

また、地震への備えも忘れてはいけません。身の回りの危険な箇所を探してみて、転倒しそうな家具や落下しそうな物がないか確認しましょう。地震の被害で自宅に住めない場合は、区立の小中学校等が避難所になります。避難するときに必要な物を、普段から確認して用意しておきましょう。

大地震は、今後30年以内に70%の確率で起きるといわれています。防災訓練で学んだことを忘れずに、皆で災害に立ち向かいましょう。

